



交流拠点都市
美祢市
MINE CITY

みね 議会だより

第43号 令和4年(2022年)6月1日発行



トゥクトゥク (秋吉台)

主な内容

- 令和4年度予算の概要 2～3
- 審議内容報告 3～5
- 一般質問と答弁 6～15
- 6月定例会の日程・編集後記 16

令和4年第1回(3月)定例会

会期 3月2日～3月23日(22日間)

第1回定例会は3月2日に開会し、令和4年度一般会計当初予算や条例改正案、人事案件など、市長提出議案40件及び請願1件、また議員提出意見書1件及び議員提出決議案1件について審議しました。

なお、議案第30号「美祢市道の駅おふくの設置及び管理に関する条例の一部改正について」及び議案第35号「美祢市道の駅おふくの指定管理者の指定について」は全会一致にて否決としました。議案の審議結果については以下をご覧ください。

令和4年度予算の概要

一般会計 予算額 198億7,300万円(前年度比24.1%増)

一般会計とは?教育、福祉、道路の整備など、行政の基本的な事業に関する会計です。令和4年度事業の一部を紹介します。

新規事業

○出産祝金給付事業 441万4千円

次世代を担う子どもの出産を祝福するとともに、子育てに伴う経済的負担の軽減を図り、子どもの健全な育成を図るため、生まれた子どもの保護者に祝金(子ども1人あたり5万円)を給付します。

○就学祝金給付事業 1,404万7千円

次世代を担う子どもが小学校及び中学校に入学することを祝うとともに、子育てに伴う経済的負担の軽減を図り、子どもの健全な育成を図るため、入学する子どもの保護者に祝金(子ども1人あたり5万円)を給付します。

○GO-E Nプロジェクト推進事業 250万円

近隣市(萩市及び長門市)と共同で婚活支援を行う組織を支援し、結婚・出産できる環境整備を整えることで定住促進を図ります。

○タクシー運行支援事業 365万円

日常生活の利便性を確保するため、市内タクシー事業者と連携し、空白時間(タクシーが運行していない時間)の解消に努めるなど、タクシーの安定運行を支援します。

○本庁舎整備事業 27億3,200万8千円

美祢市新本庁舎整備実施設計書に基づき、新本庁舎建設工事及び第一別館の改修工事並びにその他附帯事業を行います。

○美東総合支所整備事業 7,093万3千円

新美東総合支所庁舎等整備基本設計書に基づき、総合支所庁舎等の実施設計及びそれに付随する業務を行います。

○秋芳総合支所整備事業 7,119万9千円

新秋芳総合支所庁舎等整備基本設計書に基づき、総合支所庁舎等の実施設計及びそれに付随する業務を行います。

拡充事業

○ JR 美祢線利用促進事業 784万7千円

JR 美祢線利用促進協議会において、美祢線全線開通 100 周年（令和 6 年 3 月）に向けた車両の記念ラッピングを実施するなど、各種利用促進事業を展開するほか、美祢駅舎の Mine にぎわいステーションの運営及びトイレの維持管理を行います。

特別会計 予算額 73 億 2,865 万 6 千円（前年度比 1.8%）

特別会計とは？特定の事業（国民健康保険や介護保険など）を行う場合に、特定の収入（保険料など）を財源に一般会計と区別して管理する会計です。

区 分	予算額	前年度比
国民健康保険事業特別会計	32 億 7,353 万 5 千円	2.1%
環境衛生事業特別会計	1 億 82 万 4 千円	▲ 0.9%
介護保険事業特別会計	34 億 1,350 万 8 千円	0.4%
後期高齢者医療事業特別会計	5 億 4,078 万 9 千円	9.9%

●●●● 審議内容報告 ●●●●

○ 議案第 30 号「美祢市道の駅おふくの設置及び管理に関する条例の一部改正について」 議決：否決（全会一致）

道の駅おふくのレストランについて、指定管理者が直接運営する方式からテナント方式に変更することを可能にするための条例改正。

主な改正内容

- ① レストラン施設について、指定管理者が利用を許可し、それに伴う利用料金の収受を可能とする。
- ② レストラン施設の利用料金を 1 か月あたり 22 万 9,130 円の範囲内とする。

〈意見〉

昨年の 12 月、美祢観光開発㈱は人的・物的管理能力を有するという事で、指定管理者認定審査会で高い評価を得て、議会でも承認されて指定管理者としての指定を受けている。それからわずか 3 か月後に、テナント方式に変更せざるを得ない特段の事情変更があるわけでもなく、本条例改正を行うことは、議会・執行部に対する市民からの信頼・信用を失うことになるのではないかと懸念が示された。

との反対意見があり、全会一致で否決としました。

○ 議案第 35 号「美祢市道の駅おふくの指定管理者の指定について」 議決：否決（全会一致）

議案第 30 号が否決されたことに伴い、本議案についても全会一致で否決としました。

議員提出意見書案第1号「シルバー人材センターに対する支援を求める意見書」

令和5(2023)年10月に、消費税において適格請求書等保存方式(いわゆるインボイス制度)が導入される予定となっていますが、同制度が導入されると、免税事業者であるセンターの会員はインボイスを発行することができないことから、センターは支給する配分金について仕入税額控除ができなくなり、新たに預かり消費税分を納税する必要が生じます。

しかし、公益法人であるセンターの運営は収支相償が原則であり、新たな税負担はまさに運営上の死活問題であり、国において、センターに対する支援対策が講じられることなく推移すれば、発注者に対して新たな税負担を求めざるを得ないことになります。

発注者の多くは、官公庁及び民間の高齢者世帯が中心であることから、官公庁の財政運営、高齢者をはじめとする市民生活に与える影響は極めて大きなものがあります。

このことから、今後もセンターにおいて安定的な事業運営が可能となる措置を講じられるよう、内閣総理大臣等に対し意見書を提出しました。

■第1回(3月)定例会議決結果

●は全会一致で可決(同意)、○は賛成多数で可決、△は全会一致で否決

令和3年度補正予算(11件)

- 一般会計補正予算(第11号)
- 一般会計補正予算(第12号)
- 国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)
- 環境衛生事業特別会計補正予算(第2号)
- 住宅資金貸付事業特別会計補正予算(第2号)
- 介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
- 後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)
- 水道事業会計補正予算(第2号)
- 病院等事業会計補正予算(第2号)
- 観光事業会計補正予算(第3号)
- 一般会計補正予算(第13号)

令和4年度予算(9件)

- 一般会計予算
- 国民健康保険事業特別会計予算
- 環境衛生事業特別会計予算
- 介護保険事業特別会計予算
- 後期高齢者医療事業特別会計予算
- 水道事業会計予算
- 下水道事業会計予算
- 病院等事業会計予算
- 観光事業会計予算

令和4年度補正予算(1件)

- 一般会計補正予算(第1号)

条例(12件)

- 美祢市個人情報保護条例の一部改正
- 美祢市職員の育児休業等に関する条例の一部改正
- 美祢市特別会計条例の一部改正
- 美祢市ふるさと人財育成基金条例の一部改正
- 美祢市地域共生基金条例の制定

- 美祢市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正
- 美祢市国民健康保険税条例の一部改正
- 美祢市県営土地改良事業分担金徴収条例の一部改正
- 美祢市営土地改良事業の分担金賦課徴収条例の一部改正
- △美祢市道の駅おふくの設置及び管理に関する条例の一部改正
- 美祢勤労者総合福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部改正
- 美祢市特定公共賃貸住宅管理条例の一部改正
- 美祢市次世代育成支援対策地域協議会条例等の一部改正について

その他(5件)

- 山口県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び共同処理する事務の構成団体の変更並びにこれに伴う規約の変更
- 山口県市町総合事務組合の財産処分
- △美祢市道の駅おふくの指定管理者の指定
- 美祢市の特定の事務を取り扱わせる郵便局の指定
- 財産の取得(新本庁舎議場傍聴席)

人事(1件)

- 人権擁護委員の推薦につき意見を求めること

請願(1件)

- 天井山風力発電事業(仮称)計画に関する請願書

議員提出意見書(1件)

- シルバー人材センターに対する支援を求める意見書

議員提出決議案(1件)

- ロシアのウクライナ侵攻に抗議する決議

天井山風力発電事業(仮称)計画に関する請願書を採択

令和4年2月21日付けで提出された請願書に対し、第1回(3月)定例会で審議した結果、採択としました。請願内容については、以下のとおりです。

天井山風力発電事業(仮称)計画に関する請願書(一部抜粋)

1 請願の趣旨

現在、天井山風力発電事業(仮称)が、ジャパン・リニューアブル・エナジー(株)により、美祢市・長門市の市有林、嘉万地区の私有林で計画されています。

計画されている天井山風力発電開発場所は、厚東川最上流部の秋芳町嘉万地域に位置し、この山からの湧水は嘉万・青景・別府地域の上水道として飲料水・生活用水に、また農業用水としての役割を担い、この地域にはなくてはならない水源となっています。

また、宇部市や山陽小野田市への工業用水としても重要であり、今回計画されている事業により、水流の変化・水量の減少・水質汚染など懸念材料が多々あります。

つきましては、美祢市議会において特別委員会を設置し、上記の天井山風力発電事業について調査・研究し、ご審議いただきますようお願い申し上げます。

自主研究グループ中間報告会を開催しました

自主研究グループがこれまでに調査・研究してきた内容の中間報告会を3月23日に開催しました。引き続き調査・研究を重ね、最終的に議会としての意見を取りまとめ、執行部に対し政策提言していきます。

【発表したテーマ】

健全な財政運営について (1)データセンター (2)ポートレースチケットショップ (3)市内全域の活性化	猶野智和、杉山武志、岡村 隆 田原義寛、山下安憲、石井和幸
景観条例について	荒山光広、高木法生
環境保全型農業～有機農産物を美祢市のブランドへ～	田原義寛、三好睦子
農山村対策、施策の検討	秋枝秀稔、山中佳子、坪井康男
秋芳地域のまちづくりについて	山中佳子、猶野智和、杉山武志 田原義寛、竹岡昌治



自主研究グループ中間報告会



(無所属)

おかもら
岡村 たかし
隆 議員

1 美祢市政への市民参加の促進について

問 ワークショップの趣旨と内容についてお尋ねします。

答 様々な立場の人が、意見を出し合い、お互いの考えを尊重しながら、意見や提案をまとめ上げていく場であると認識しています。

市民参加のワークショップを開催するメリットとして、計画段階から市民の意見が反映され、市民主導の計画が策定されることで、市民が一緒になって策定したことにより計画に愛着が生まれるなどが挙げられます。

問 市民の皆様には今後の美祢市のために無償で参加していただいておりますが、市職員の意欲や思いを直接伝えることのできる大変貴重な機会だと思います。今後の取組方についてお伺いします。

答 関連資料の作成や、市民の疑問に的確に答えられるよう、周到な準備が必要と考えます。

参加者の意欲や経験をうまく引き出し、建設的な議論を展開させるために、行政側の押しつけにならないよう市民主体の議論が進められる環境をつくることが重要であると考えています。

問 パブリックコメントの趣旨や内容についてお尋ねします。

答 市民に広く影響を及ぼす市の基本的な政策や条例計画など立案する過程において、広く市民の皆様にご公表し、寄せられた意見を考慮して、政策等の決定を行うとともに、寄せられた意見の概要と、これに対する市の考え方を公表する制度です。

市民の皆様への説明責任を果たすとともに、市民参画の促進を図り、公正で民主的な開かれた市政の推進がなされるものと考えています。

問 意見や提言の提出件数について、これまで実施したパブリックコメントの実績を含めて行政側の意見をお尋ねします。

答 市民の関心の高いものは、数十件と多くの意見をいただいているものもありますが、多くは意見なし、または数件程度と低調となっており、制度が生かし切れていない状況にあると思っています。

これは、パブリックコメント制度そのものの認知度が低いことや、本市においては、パブリックコメントの募集や結果についての周知が十分でないことが大きな原因ではないかと考えています。今後周知につきましても充実を図る必要があると考えています。

問 市民の市政参加促進は、これからの美祢市においても大変重要であると認識していますが、参加していただくためには、知っていただくことが不可欠であると考えますが、参加促進のための情報発信の方法についてお尋ねします。

答 現在、市民への行政情報の発信方法については、広報紙、市ホームページ、ケーブルテレビ、安全・安心メール、防災行政アプリ及び各種SNS等が主な方法であります。

情報発信にあたっては、内容や目的、対象者に応じて最適な方法を選択し、情報発信を行っているところです。

問 現在の美祢市のホームページは情報を見つけるのに時間がかかるともに、近隣市に比べ新着情報の履歴が少ないと思われませんが改良は可能でしょうか。

答 更新情報の経年履歴についても、今後検討し、より親しみやすく利便性の高いホームページの構築に努めてまいります。



ワークショップ風景



(無所属)

 たはら よしひろ
 田原 義寛 議員

1

防災行政アプリの市民活用と機能の拡張について

問 市民から投稿する機能を使った活件数と内容についてお尋ねします。

答 本アプリには写真投稿機能が配備されており、この機能を利用した写真投稿を現在までに6件いただいています。道路に関する投稿が3件、ごみに関する投稿が1件、その他電柱に関する投稿が2件となっております。

問 タブレットを活用しての授業において、本アプリを今後どのように生かしていくのか、またタブレットにインストールできるのかどうか、お尋ねします。

また、梅雨どきになると豪雨災害などの心配がありますが、児童生徒に対するアプリの活用についてお尋ねします。

答 現在、本市が利用している防災行政アプリは、子どもたちが使用しているWindows版のタブレット端末には対応しておらず、インストールすることができないというのが現状です。

今後は、消防本部や市防災危機管理室との連携を一層強め、防災行政アプリを児童生徒に紹介するなど、引き続き、防災教育の取組を充実させてまいりたいと考えています。

問 アプリをさらに拡張するという点に関して、どのようにお考えかお尋ねします。

答 高齢者の遠隔見守りやオンライン健康サロンの実施など健康福祉面での活用、さらにはコミュニティバスの位置情報の提供やデマンド交通の予約など公共交通施策への活用事例を踏まえ、また、パブリックコメント制度の活用なども含めて、本市においても活用の幅を広げる必要性は感じています。

2 美祢市のジビエ普及について

問 有害鳥獣に関しては、予算を取られて捕獲頭数を増やされるということですが、その処理について、これまでの指導と今後の対応についてお尋ねします。

答 鳥獣の処理については、狩猟者において、一部は市外の食肉加工施設へ持込みがあるものの、大半が自家用消費されるか、埋設処理されている現状にあります。

埋却については、狩猟者の裁量に任せているとともに、必要に応じて、猟友会を通じて、適切な処理に向けて要請を行っているところです。

問 地域の有害鳥獣として捕獲された生き物をいろいろ活用する任務を地域おこし協力隊の方に担っていただくということができないかお伺いします。

答 協力隊の活動については、それぞれの自治体に裁量が委ねられているところであり、捕獲した鳥獣を活用した地域活動につながる取組を否定するものではありません。

関係部局等との情報共有を図りながら、こうした取組募集に向けて対応が可能か検討してまいります。



タブレットを使用した授業風景



(純政会)
つばい やすお
坪井 康男 議員

1 木質バイオマス利用促進事業の進捗状況について

問 令和4年度の木質バイオマス利用促進事業に関して生活環境課と農林課の2つの所管課に分かれて予算が計上されている理由をお尋ねします。

答 生活環境課が全体のプロジェクトマネジメントを行い、各課は各取組を推進していくことにしています。

問 バイオマスチップ製造工場の立地場所の選定状況についてお尋ねします。

答 諸条件を総合的に勘案した結果、美東町真名の十文字原を選定いたしました。

問 利用サイドの焼却設備の設置と準備状況についてお尋ねします。

答 今後、ボイラー設置に向けた基礎調査および機種を選定などを行い、令和5年度中の供用開始に向けて準備を進めております。

2 第三セクター改革推進委員会の開催について

問 第三セクター改革推進委員会の仕事の内容は、どのようなものでしょうか。具体的にはどのような提案・提言・問題提起がありましたか。

答 第三セクター改革推進委員会は、2つの第三セクター（美祢観光開発と美祢農林開発）の抜本的改革を含む経営健全化等を推進することを目的に平成26年10月に設置された専門知識を有する外部の4名の委員からなる委員会です。第三セクターの統合を含めた改革について議論がなされ、最近では、統合したうえで間接費を削減し、不採算の事業を整理す

るなど、流動的な対応ができる体制とするべきとのご意見をいただいています。第三セクター改革推進委員会は、司令塔というよりご意見を賜る第三者の機関です。

問 第三セクターの抜本的な改革は、誰がリーダーシップをとって実行されるのかお尋ねします。

答 市です。

問 美祢農林開発（株）には、既に5億円近い公金がつぎ込まれています。平成27年3月2日付の美祢市第三セクター改革推進委員会の報告書では「竹箬事業については、外国産竹箬の低価格競争に太刀打ちできておらず、製造コストに見合わない価格帯での取引となっています。」と、市場競争力がないことが明確に指摘されています。竹箬事業をどうされるのかお尋ねします。

答 長年、竹箬製造ということで刑務作業を担ってきました。美祢農林開発（株）が製造する竹箬は防腐剤を使用しておらず高く評価されており、全国には竹箬に興味のある事業者がいると思います。刑務作業については、竹箬製造の可能性のある事業者を探します。

問 竹箬製造設備は設置以来15年が経過し、まともに稼働できない状態であると伺っています。竹箬製造に興味のある業者がいたとしても、新たに竹箬製造事業を開始するには、特別に有利な条件が必要と考えます。結局、竹箬製造を継続するために、新しい事業者が仮に見つかったとしても、市の財政的援助が必要で、美祢農林開発（株）がやっていた時と比べて、市の財政的負担が増えることはあっても、減少することはないのではないかと危惧しますが、市長のお考えをお伺います。

答 市の財政的負担が増えることはあってはならない、ということが大原則です。



十文字原総合開発事業用地



(日本共産党)
やました やすのり
山下 安憲 議員

1 公設塾minetoのこれまでの課題と今後の方針について

問 公設塾を美東・秋芳地域でも開設してほしいとの声も聞かれる中、どのように対応されるのか、また、新年度の新たなカリキュラム等についてお尋ねします。

答 美東・秋芳地域からは遠くて通いづらいというお声もいただいているところです。好奇心のトビラや知のトビラで、オンラインでの実施が可能なものについては、オンラインでの受講も可能な限り進めたいと考えています。

令和4年度については、mineto教育改革プロジェクトとして、4つの柱で取組を進めることができるよう、新年度予算に事業費を計上しています。

1つ目の柱は、公設塾minetoです。子どもたちの好奇心を引き出し、挑戦する力を育てる取組を進めてまいります。

2つ目の柱は、出張minetoです。慶応義塾大学SFC、長谷部研究会の学生が市内の中学校に出向いて、ワークショップ等を実施したいと考えています。

3つ目の柱は、SFCと連携したmineto合宿です。夏休みに市内の中高生向けに、SFC、長谷部研究会の先生や学生と一緒に合宿プログラムを行います。

4つ目の柱は、mineto子どもキャンプです。小学3年生から6年生を対象に、自己決定をテーマにした宿泊体験学習を行います。

2 政府によるデータセンターの地方分散方針に対する本市の対応について

問 政府は大規模災害に備え、データセンターの地方分散化のため、今春に新たな拠点候補地を公募するとのこと。本市は、過去に大きな地震の発生もなく内陸部に位置していることから、比較的災害に強いという利点があり、十文字原総合開発用地もあります。また高速道路の入り口、光回線、安定電力など4条件をクリアしていますのでデータセンター誘致をしてはいかがでしょうか。データセンターができればIT関連企業の進出、就業機会の創出で若者の定着等により、美祢市が生き残れると考えますが市長のお考えをお尋ねします。

答 データセンターとは、サーバーや各種情報通信機器を集積化して、設置、保管、運用することに特化した施設です。

社会のデジタル化が進行する中、さらに自動運転車両の運行や産業用ロボットの活用、AIによるヘルスケアの実施などが日常化した場合、将来的なデータ流通量は、今後10年間で30倍に増加すると言われており、データの量的な増加とともに、質的な高まりもあって、データの処理を担うデータセンターの役割がますます重要になってきているとされています。

国との意見交換への参加募集があったことから、本市においても、情報収集のため、この意見交換会に参加したところです。

引き続き県とも情報共有を図りながら、美祢市としてのメリットや財政負担も今後整理していかなければなりません。積極的に誘致に取り組んでまいりたいと考えています。



美祢市公設塾 mineto



(新政会)
たかぎ のりお
高木 法生 議員

1 JR美祿線利用促進協議会の活動状況について

問 美祿線の利用状況についてお伺いします。

答 JR西日本が公表しています令和2年度の輸送密度は、1日当たり366人となっています。(輸送密度=利用された乗客の1日1キロ当たりの人数) 令和元年度の輸送密度は、1日当たり478人であり112人の減少となっています。

JR美祿線利用促進協議会で行っている回数乗車券及び通勤定期券の購入費用の一部を補助する事業の令和2年度実績は、回数券の利用が延べ2,497人、通勤定期券の利用が延べ15,728人となっています。美祿線は、中高生のみならず市民の皆様の生活に密着した重要な交通手段の一つであると考えています。

問 観光立市を目指す本市としての美祿線の位置づけについてお伺いします。

答 美祿線の存続に向けて、観光施策として美祿線は、重要な位置付けです。美祿線がもつ価値に着目しながら、鉄道としてふさわしい観光施策をドッキングさせ、観光地の魅力の向上と利用者数の増加に向けて、引き続き寄与して参りたいと考えています。

問 美祿線の路線存続への取組についてお伺いします。

答 昨年5月の全国市長会において、中国市長会からの要望として、鉄道事業者の届出により事業廃止ができる現行の鉄道事業法を再改正し、地方鉄道が廃止されることのないよう、国や自治体が関与できる制度とすることが採択されています。引き続き制度改正を働きかけると共に、JR西日本に要望活動を粘り強く

行ってまいります。

2 保健事業等について

問 コロナ禍における最近の特定健診並びにがん検診の受診率についてお伺いします。

答 本市における国民健康保険の受診率は令和元年度が35.0%、令和2年度が31.2%とマイナス3.8ポイントとなっています。受診率低下の主な要因は、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えが影響したものと考えています。

がん検診の状況については、令和元年度の受診率は、大腸がん検診の受診率が11.6%、エックス線と内視鏡を合わせた胃がん検診の受診率が9.4%であり受診率の低さが課題です。早期発見、早期治療を行うことで死亡率が減少できると考えられ、定期的に検診を受けることが最も重要であると認識しています。

3 誘導サイン(看板)の再利用について

問 観光案内看板について経年劣化により老朽化が激しく、役割を果たし得ない看板があります。今後案内看板の設置について、撤去も含めて考え直す必要があると思われませんがお考えをお伺いします。

答 経年劣化が著しい場合には、財源の許す範囲内で計画的に撤去を行うことで、景観の保全に努めてまいりたいと考えています。また、必要性が残る看板につきましては、美祿市サイン計画やジオパーク看板などに配慮を行いながら、秋吉台・秋芳洞の一層の価値向上と、新たなアウトドアアクティビティのイメージアップを効果的に図るなど、誘客促進につながる看板内容の更新に努めてまいりたいと考えています。



JR 美祿駅



(公明党)

おかやま
岡山 たかし
隆 議員

1 安心して出産するための支援策に関して

問 出産費用が50万円程度に対し、出産一時金が42万円、また令和4年度には出産祝金給付事業として1人5万円が給付されます。本給付事業で1人10万円を給付するお考えについてお尋ねします。

答 令和4年度におきましては、出産祝金や就学祝金の支給を始めたいと考えています。また、出産費用の軽減策につきましては、今後も少子化対策プロジェクトチームでも引き続き検討してまいりたいと考えています。

2 介護で疲弊する生徒(ヤングケアラー)等の支援策に関して

問 ヤングケアラーの実態調査と職員研修についての推進状況についてお伺いします。

答 本市では、ヤングケアラーの実態に関する調査が未実施であるため、全国的な統計値に値する数の生徒が存在するかどうか、把握できていないのが現状です。

県の調査結果や会議の動向に注視し、適切な対応を行いたいと考えています。

問 ヤングケアラーへの適切な支援を行っていくうえで、専門部署が必要と思われませんが、どのようにお考えでしょうか。

答 専門のコーディネーターの配置は現時点では考えていません。

現状のスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーあるいは家庭児童相談員等において、ヤングケアラーを含む子どもの問題に対応してまいりたいと考えています。

3 県内の住みよさランキング2021から見えてくる課題と改善策に関して

問 夜間における体調不良の際、救急車を呼ぶ基準についてお伺いします。

答 消防本部の救急対応方針としましては、けが、体調不良等で緊急を要する場合には、昼夜を問わず、迷わず119番通報をしていただき、迅速に対応したいと考えています。

また、消防機関の行う基礎講習を修了し、応急手当に必要な資機材を備え、消防本部の定める基準を満たし、認定を受けた有料サービスの患者等搬送事業者として、現在市内では2者が運用されています。

問 夜間に民間タクシーの利用が出来ない、この住み心地の悪さを解消するための対応策についてお尋ねします。

答 このような状況を少しでも改善するため、令和4年度から美祢市タクシー運行支援事業を実施することとし、本定例会に新年度予算の新規事業として提出したところです。

この事業は、市民の皆様の日常生活に不可欠なタクシーが運行していない空白時間を解消するとともに、現在運行しているタクシーの確保、維持のため、タクシーの運行に係る経費の一部を補助するものです。





(純政会)
やまなか よしこ
山中 佳子 議員

1 まちづくりと人口減少対策について

問 美祿駅周辺の再整備をどのように進めようとお考えかお尋ねします。

答 都市拠点における中心市街地の土地利用及び整備事業方針案についてお示しさせていただき、中心市街地における店舗、空き店舗、空き家などの分布状況調査や、消防庁舎跡地などの低未利用地の用地確定測量等を行い、市民意向を把握するためのワークショップや学識経験者からの意見聴取などに取り組んでいます。

また、再整備にあたっては国等の補助金を活用する予定であり、その条件である立地適正化計画を2か年で策定するとともに、財政状況に配慮しながら5か年程度をかけて中心市街地の再整備に取り組む予定としています。

問 秋芳地域の住民が待ち望んでいることは、1日でも早くまちづくりに着手してほしいということです。秋芳地域のまちづくりについてお尋ねします。

答 秋芳地域の課題の上位に上がってくるのは、買物や通院対策についてであると認識しています。公民館単位でのまちづくりの推進はもとより、各総合支所周辺の地域拠点においても地域課題に対応しつつ、都市機能、生活機能を集約し、地域特性に応じた魅力ある土地利用や整備を推進して生活の利便性を確保してまいりたいと考えています。

問 公共下水道と合併浄化槽の費用対効果について比較検討されたのか、お尋ねします。また設置する際のおよその費用と補助金の額についてお尋ねします。

答 補助金額については、5人槽で33万2,000円、7人槽で41万4,000円、10人槽で54万8,000円を交付しています。また、環境省が示している浄化槽の一般的な設置費用は5人槽で83万7,000円、7人槽で104万3,000円とされています。

問 浄化槽設置の際の補助金の増額も必要ではないかと考えますが、お考えをお伺いします。

答 現在は国の補助金交付制度を活用し事業を実施しています。負担割合は国が3分の1、市が3分の2となっています。

補助制度の拡充については、県国の動向を見極めながら検討してまいりたいと考えています。

2 公職選挙法について

問 新聞報道によりますと、山口県庁内では、10月の衆議院選だけでなく別の国政選挙や首長選挙など、少なくとも10年以上前から選挙運動の禁止違反の事例があったと明らかにしています。本市のこれまでの首長選挙において、今回のようなことはなかったのかお尋ねします。

答 これまでの首長選挙において、法に抵触する行為はなかったものと認識しています。

問 山口市では、公務員の中立の徹底を図るために、管理職を対象とした職員研修会を開催されています。本市で研修会を開催する予定はありますか。

答 講習会の開催については検討させていただきたいと思います。

法を遵守し、市民の信頼を損なうことがないように、今後も選挙における服務規律を徹底してまいりたいと考えています。



賑わいが求められる秋芳総合支所周辺



(日本共産党)
みよし むつこ 議員

1 人口定住施策について

問 美祢市少子化対策プロジェクトのデータを参考にさらにどのような政策をお考えかお尋ねします。

答 今年度新たな子育て支援策として、妊産婦小児オンライン健康相談事業を開始し、スマートフォンを通じて小児科、産婦人科の医師や助産婦に直接相談できる環境を整備しました。

また自ら考え未来を生き抜く力を育むことを目的に公設塾minetoを開設し、さらに、国のGIGAスクール構想により整備した児童生徒の端末に5教科のAI型の学習教材ソフトを導入し、1人1人が充実した学習時間を過ごせる環境整備に取り組んでいます。

令和4年度はこのプロジェクトチームの方策提案を受け、未婚化・晩婚化対策として萩市・長門市と3市共同で取り組むとともに、相談窓口の設置、婚活イベントやセミナーを通して参加しやすい環境づくりに努めてまいります。

また子育て費用の負担軽減を目的に、出産祝金として1人5万円、小学校及び中学校の入学の節目にそれぞれ5万円を給付する就学祝金を新たに開始します。



さらに子ども医療助成事業について、中学生の所得制限を撤廃し、小中学生の医療費の自己負担を所得に関係なく助成することとしました。

子育て世代に対しましては、市営の特定公共賃貸住宅への入居者の負担軽減を目的に、家賃などの引き下げを行います。入居されている世帯のうち、高校生までの年齢に相当する子どもがいる世帯に対しましては入居者負担額の減額と入居促進を進めてまいります。

就労環境につきましては、事業所における女性就労者の子育てと仕事の両立を支援することを目的に市が定める要件に該当する事業者で女性就労環境が改善された場合に、その費用の一部補助を実施します。

問 小中学校の女子トイレへの生理用品の常備についてお尋ねします。

答 昨年2月に教育委員会事務局から各学校に生理用品を配布し、今年度も追加配布しました。その際、学校の実情に応じて女子トイレや保健室に常備し、必要な児童生徒が自由に使えるようにすることを併せて指示しています。

問 子育て世代で移住や定住の魅力ある政策は給食費が無料になることだと思いが、いかがでしょうか。

答 子どもたちを美祢市に呼び込むという施策の中で、全体のバランスと財政状況を踏まえた上で、また市長部局とも協議しながら、検討を加えていきたいと思えます。



大正洞



(みらい)
ふじい としみち
藤井 敏通 議員

1 美祢型小中一貫教育(分離型)の進捗状況と今後の予定について

問 美祢型小中一貫教育の進捗と今後の予定についてお伺いします。

答 現在、施設分離型の小中一貫教育を先行実施しています美東中学校区の取組の成果と課題を、市内のすべての小中学校長と共有し、令和4年度4月からは、他の5つの中学校区で開始する小中一貫教育の準備を進めています。子どもたちに、義務教育の9年間を通じて社会的自立を促し、また9年間の子どもたちに必要な学びを保護者や地域の皆さんにも判るように見える化していこうと考えています。

問 小中一貫教育で最も重要なことは、9年間を通じた教科ごとのカリキュラムの作成だと考えます。生きた英語をどう9年間で身に付けさせるのか、時間を掛けてでも一步一步積み上げていくべき算数・数学の9年間のカリキュラムをどうするのか、具体的にお聞きします。

答 小中一貫校を目指すということで、1人教員が加配され、その方を中心に、各校の校長、教頭、教務主任などと併せてカリキュラム編成に当たります。加配教員が英語の先生でしたので、美東中校区の3小学校は美東中学校に一同にそろって、合同授業を実施してまいりました。算数・数学について、どういうふうにするかまでは、具体には至っていません。

問 教育委員会では、第二次美祢市立小・中学校適正規模・適正配置基本方針を策定しています。その基準は、小学校であれば複式学級をゼロにする、中学校であれば最低でも1学年1クラスと考えられますが、新たに最低20人1クラスという基準は考えられませんか。

答 方針を立ててからもう2年たっており、ますので、改めて、児童生徒の減少、地域の活力、まちづくり、そうしたものが全て学校施設とリンクすることを勘案しながら、改定することについては同感です。

2 スマホ等の電子機器類依存による小中学生への悪影響について

問 スマホ等の電子機器類への依存による弊害が世界的に問題となっております。美祢市の小中学校児童生徒への悪影響は見受けられないでしょうか。

答 各小中学校から、生徒指導の報告の中で、ゲーム機の利用に対する依存傾向の影響がある生徒児童は散見されますが、スマートフォン等に対する依存傾向の影響は判断しにくいということもあり、その影響が明確に見られる事案は報告がなされていません。

問 この弊害への対処方法として「運動すること」が効果的であることが実証されています。運動することで集中力や注意力を高めることができ情報処理能力も向上しますので、美祢型小中一貫教育の新カリキュラムに毎日の運動を導入しませんか。

答 今後、全中学校区で小中一貫に取り組む中で、子どもたちがしっかりと運動をしながら、そして、学びに集中するという授業づくりを考えてまいります。



美東中学校



(みらい)
むらた ひろし
村田 弘司 議員

1 激動の世界の中、人口減の続く本市はどう生き残るのか

問 人口減が進む中で美祢市がどう生き残っていくのか、市長としてどういう心構えでいるのか、お伺いします。

答 平成の大合併の結果、現在日本には1,700余りの市町村があります。今後いくら人口減少となっても市町村合併を国が指導していくことはないと思っています。

従いまして、市を守っていくための財政規律、そして市民の幸せのためにどうあるべきかを常に考えながら行動していくことが大事だと思っています。

問 日本全体の人口が大きく減ってきています。郷土に対する誇りを保ち、美祢市を生き残らせるため、観光はもちろん、その地域が持っている農業・風俗・風習あらゆるものを関連させてこの地域を一体化させて振興していく組織、DMOについてお尋ねします。

答 DMOの大きな役割は行政・観光協会・観光事業者で観光振興を行うことでしたが、それでは弱いということで日本型DMOがスタートしました。

観光に携わらない地域の方をいかに巻き込むかが重要であり、それを確立しなければならないと考えています。

現在、美祢市観光協会が令和元年度にDMOの候補法人に認定され、その後令和4年度中に正式にDMO登録法人を目指し、活動を展開しています。

問 美祢市は台湾に台北観光・交流事務所を設置していますが、現状の活動についてお伺いします。

答 現在、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、人的交流はかなわない状況ですが、ウェブ等による交流や現地旅行社への訪問を、現地スタッフが精力的に行っています。

問 今後、この台湾事務所が美祢市にとってどれほどの効果をもたらすか考えていくべきであろうと思います。1つのオフィスをいろいろなところが随時活用して、シェアオフィスとしてこの事務所を活用できないか、お尋ねします。

答 台湾との事業をお考えの民間事業者の窓口及び現地事業者の紹介、調整役を本事務所で実施することが可能であれば、大きな夢が広がってくるのだと思います。前向きに調査させてください。

問 JR西日本では1日2,000人以上の乗客数を望まれています。美祢線は366人と、輸送密度が低く、廃線の恐怖を感じていますが、市長はどのようにお考えでしょうか。

答 厳しい状況にはありますが、希望を捨てずに存続に向けて取り組みたいと思っています。

問 今後、美祢線を残すためにJRサイドから応分の地元の費用負担を求められたとき、市がそれに応じて美祢線を残すという考えがあるか、民間にお願いしてでも存続していく覚悟があるのかお尋ねします。

答 応分の負担は金額によるかもしれませんが、負担する覚悟はあります。

また、第三セクター化ということになれば県や近隣市の協力が不可欠であり、調整はさせていただきます。



美祢市台北観光・交流事務所

ロシアのウクライナ侵攻に抗議する決議

去る2月24日、ロシアは、国際社会の度重なる警告を無視し、ウクライナへの侵攻を開始した。そして、首都キーウへの攻撃を開始するなど、ウクライナ全土への軍事攻撃を行っている。

今回のロシアによるウクライナへの侵攻は、国際社会の平和と安全を著しく損なうものであり、戦後、築き上げられてきた国際秩序の根幹を揺るがす暴挙である。

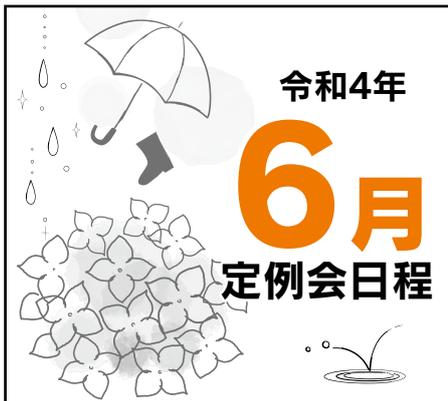
このように、力を背景として一方的に現状を変更しようとする軍事侵攻は、国際法の重大な違反であり断じて容認することができない。

よって、本市議会は、国際秩序への挑戦とも言える今回のロシアによる軍事的暴挙に対し、抗議と非難の意を強く表明するとともに、即時の攻撃停止と完全撤退を強く求めるものである。

また、日本政府においては、ウクライナ在留邦人の安全確保に全力を尽くすとともに、国際社会と連携し、制裁措置を含む迅速かつ厳格な対応を行うよう強く要請する。
以上、決議する。

令和4年3月23日

美 市 議 会



市民の皆さん、ぜひ傍聴にお越しください。
(6月1日(水)議会運営委員会において日程を決定します)

日 程	時 間	内 容 (予 定)
6月 8日(水)	10:00	本会議 (初日)
6月13日(月)	10:00	本会議 (一般質問)
6月14日(火)	10:00	本会議 (一般質問)
6月15日(水)	10:00	本会議 (一般質問)
6月16日(木)	9:30	総務企業委員会
6月17日(金)	9:30	教育民生委員会
6月20日(月)	9:30	予算決算委員会
	予算決算委員会 終了後	新庁舎等建設特別委員会
6月28日(火)	10:00	本会議 (最終日)

編 集 後 記

3月議会も無事終わり、新年度予算のもと美祢市も新たなスタートをきりました。

しかし、世界に目を向けると新型コロナウイルス感染症に加え、ロシア軍のウクライナ侵攻と今まで経験したことのない悲惨な映像が私たちに届けられています。

平和な日常があるにもかかわらず不平不満の多い私たちですが、子どもたちの将来が安全で安心感に満ちたものであることを願わずにはられません。

大きな世界や日本という国の組織から見れば小さな美祢市であり、美祢市議会ですが、その責任は重大であると実感しています。(山中)

議会だより編集委員会

委員 長 三好 睦子
副委員長 山中 佳子
委 員 藤井 敏通
" 岡村 隆
" 田原 義寛
" 山下 安憲
" 石井 和幸